

# 土・まち・みどり

通信第23号

2006. 5. 2

発行 土とみどりを守る会

連絡先 3718-8558 (柳島)

CONTENTS ◆新春のつどいレポート第1部奥沢コンサート ◆おくさわ今と昔 ◆新春のつどいレポート第2部奥沢の昔を語る  
◆土とみどりのミニ園遊会のおしらせとボランティア募集 ◆会からのお知らせ

新春のつどいレポート

## 第1部 おくさわコンサート ♪石井八重さんの琵琶演奏



2月4日の立春の日に、土とみどりを守る会の新春のつどいが開かれました。第1部は、石井八重さんの筑前琵琶演奏でした。石井さんは奥沢2丁目でお生まれになり、ずっと2丁目でお暮らしになっていらっしゃるようです。80才を超える御高齢にもかかわらず、あの寒さの中の熱演にまず感動いたしました。

お話によると、石井さんは幼少の頃から琵琶を習い八幡小学校時代に小学校で演奏なさった思い出もあるそうです。やがて戦争が始まり辛い時代が過ぎて、戦後は御結婚や子育てで琵琶から遠ざかっていらっしゃいましたが、人生半ばに偶然にも再びこの楽器と向き合う機会を得て30年余り精進を重ねられたとのことで、力強く又繊細な響きには豊かな人生経験が映し出されているに違いないと感じました。

日頃のくらしの中で琵琶の音に接することは滅多に無いのですが「坂崎出羽守」の無念の様子はしみじみと伝わってきましたし、「二〇三高地」では演奏の技巧のすばらしさとみごとな歌唱に心を奪われてしまいました。熟達された撥さばきから生れ出る琵琶の音色が強くやさしく宙に舞い、それと共に張りのあるお声が時に激しく時に静けさを漂わせて、聴衆の心に余韻を残しながら演奏会は終わりました。日常を忘れさせていただいたひと時でした。(毛利)

## 川の記憶

奥沢2丁目 畔柳 順一

我が家を出て角を二回曲り坂を下ると、旧九品仏川の緑道に行き当たります。生れた時から、何千回とこの緑道を通っており、家の近所の道と言うとまずこの道が浮びます。

一番古い記憶では(前後の記憶から推測すると、多分三歳頃)緑道はまだ川として存在していました。確かアヒルが二羽程水浴びをしており飽きずに眺めていた覚えがあります。

又当時オタマジャクシも生息しており、親に採ってもらい、家の小さな池で小さな蛙になったのを見て感激した事、この後数日は将来動物学者になろうと思いました。又もう少し成長した後、木片を舟に見立て川に流し東工大の辺り迄川治いを歩いた事、この頃は探検家として激流を下る事を夢見ていました。その子供の頃の記憶の中に、小さな川と私の幼い夢とが重なっていた時もあったのです。

スポーツに熱中し毎日家の近くを走っていた頃、はるか以前に緑道になっているのに走る前その日のコースを頭の中に描くと、何故か既に無いはずの川治いを走っているイメージが浮かぶことがありました。

又学生時代酔って緑道のベンチで眠ってしまった時、目が覚めて川に落ちなかった事にホッとして見まわすと、川が無い事を一瞬不思議に思った事もあります。

今は毎朝犬の散歩で緑道を通りますが、時にフッと川に沿って歩いている様な錯覚にとらわれます。桜の季節花びらが川面を流れて行く光影、梅雨時いつもより水量の多くなった流れ、夏の光にギラギラ反射する水面等々、散歩の途中に見えた様な気がする時があります。ただ冷静に思い出すと、後々はゴミが浮かび、時に悪臭のする半ばドブ川の様な流れでしたが、自分の頭の中ではあの川は日々清流に近づいている様です。きっと明日も緑道は私の中で、日々水が澄んで流れ行く川のままでと思われます。



## 娘の成長と共に

奥沢2丁目 石井昌人

私共家族がこの街に引っ越して来て、十日後に、4人目にして待望の女の子が生まれました。これまで、上馬→田園調布→南麻布→晴海→表参道→中根、そして現在の奥沢と転居を繰り返してきましたが、最愛の娘の誕生と共に理想の街に出合えた様に思います。

娘も現在は2才4ヵ月、色々な事に興味を持ち、家の近所を散歩している時にも、「この黄色のお花きれいねー、ピンクのお花が好き、このお花ちっちゃいねー、お花いいにおいがするねー」など花の話題にはこと欠きません。又、御近所の方々も「よくおしゃべりできるようになったね」と、娘の成長を共に楽しんでいただいている様です。

実は今の家を購入する際、妻と見に来た時の事ですが、二人共物件の前のお宅の大きなヤシの木の様なシンボルツリーのあるお庭に見とれてしまい、建物の内を見る事もなく購入を決めてしまいました。近所に住んでいらっしゃる知人のご尽力も有り、この街の住人になることが出来ました。

先日、近所の桜を見上げながら思ったのですが、この街に越して来てから3回の春を迎えますが、お花見をしにどこかに行っていない事に気付きました。以前は洗足池や千鳥ヶ淵等、毎年家族で出掛けていたのが、ここ三年は近所の桜や花々を見ながら散歩している事で、充分花見気分が満たされていたのです。

これからも緑多い奥沢の街の素敵さを感じながら、家族で過ごせればと思っております。

●奥沢・自由が丘あたりの古い風景が写っている写真をお持ちの方はご連絡下さるようお願いいたします。

●このシリーズへの御投稿をお待ちしております。お話を聞かせ下さる方にはうかがいに参ります。

## 第2部

## 奥沢の昔を語る

琵琶の演奏を堪能したあと、第2部は平野久美子さんの司会で楽しい語らいの時間になりました。皆さんのお話の中から古い奥沢の姿が浮び上がってきました。

### 元腕白少年、大いに語る

「奥沢の今昔を語る」第二部は、奥沢2丁目在住70年以上の佐藤忠さん、西野定正さん、平野肇さんのビデオ対談(2006年1月29日、堀内邸にて収録)を、視聴することから始まりました。

お三方はともに83歳。昭和10(1935)年に八幡小学校を卒業した同窓生です。しばしの間、腕白少年の表情に戻って、昭和初期の奥沢の様子や家並みのことなどなど、貴重な証言が相次ぎました。

※当時の奥沢は150～200坪が平均的な一軒家。ほとんどが平屋建て(新築の際は、高さを揃えることが紳士協定になっていた)だったから空が高く、どこからも富士山が見えた。

※どの家も生け垣の上、森や麦畑が周囲にたくさんあって、自然があふれていた。広い敷地の家にはご神木のような樹木が何本もあり、緑陰を作っていた。

※奥沢駅の斜め向かいにあった明電舎グラウンドでの野球試合は、無料の上人気選手が登場するので、大変に人気があった。

※呑川(現在の九品仏川暗梁)では、川エビやフナが採れたので、子供たちの格好の遊び場となっていた。

※トンボ取りは男の子たちの定番遊びだった。まずメスを捕まえ、その尾に糸を結んで振り回しオスを捕まえる。時にはオスのトンボを草の汁で緑に染めてメスのように見せかけ、他のオスをおびき寄せるといった“裏ワザ”も駆使した。

街並みが変わったのは戦後から。世代交代に伴い一軒家が分割され、建て売りが増え、ブロック塀が多くなってしまったそうです。最後に奥沢の魅力をベテラン住人に何うと口を揃えて「静けさ」、「交通の便の良さ」、「人の心の温かさ」を挙げて下さいました。



### 変わらぬ奥沢の良さを大切に

ビデオ鑑賞後、出席者の皆さんが思い出を語りました。大正12年の関東大震災により目蒲線の線路は「く」の字に曲り、復旧に一週間かかった話からは、被害状況のすさまじさが伝わってきました。昭和6年からお住まいの方は環状8号線の近くにローラースケート場がありにぎわっていたことや九品仏浄真寺の裏にあった池が、渋谷の東急ビル建設のために掘った土で埋められ宅地になったことを話して下さいました。戦中にはご近所に米軍の焼夷弾が落下して民家二軒があっというまに延焼。近隣の住民が砂をかけて消化にあたった体験談も飛び出しました。

戦後の昭和20年代に奥沢へ嫁いできた方々からは、当時の商店街の様子や駅前の「ニコニコ市場」の様子が披露されました。長野市の中心街から奥沢に引っ越してきた当時、「こちらのほうが田舎に感じられた」というご意見も。奥沢の住み心地については、緑が多い環境、静けさ、交通の便の良さを挙げる方々が多く、この80年来ほぼ変わらぬことが再認識できました。今後も良好な住環境を一人一人の力で大切にしていきたいものです。(平野)



# 5月のつどいは 土とみどりのミニ園遊会 です

- 日時 5月20日(土) 11時30分より 雨天順延
- 場所 奥沢2丁目32番15の空地
- 催し
  - ・展示コーナー 奥沢の歴史・写真で見る昭和初期の奥沢  
現在の奥沢の景観を彩る樹木や花の写真
  - ・売店コーナー 中国茶・ケーキ・みそ・梅干など
  - ・花苗コーナー 頒布苗・安価でお分けする仕入れ苗

## ★このイベントにお力を貸して下さる方大募集

- ・会場のボランティアをして下さる方  
販売係・頒布係・会場設営・整理など
- ・お手作りの花苗・苗木を頒布コーナーに寄贈して下さる方
- ・お育ての花苗・苗木を実費で提供して下さる方

★ぜひ御一緒にイベントを盛り上げてくださいませんか。

お申し出をお待ち申し上げます。

5月13日までに御連絡をお願いします。

杉村 3717-8834 玉置 3724-1077 長瀬 5729-0126 柳島 3718-8558

## 会からのお知らせ

●5月のつどいは、空地をお借りして、青空の下で楽しいイベントを催します。展示・売店・花苗などの各コーナーを設けていますが、お茶のサービスもありますのでごゆっくりお寛ぎ下さい。つどいの前に11時から土とみどりを守る会の総会を開きます

●土とみどりを守る会は、皆様のご協力を頂いて会員制として発足し、お陰さまで4年目を迎えることができました。私有地の緑が減り続ける中で、会の活動はますます重要になると思います。年間1口1000円の会費による御協力をどうぞお願い申し上げます。

●前号で製作中と発表した奥沢グリーンマップは間もなく出来上がります。配布の方法については只今検討しています。このマップが皆様の日常やお散歩の役に立ちますようにと願っています。

ことは桜の花が長く咲いてくれて、心楽しい日々を過ごしました。昨年昭和10年代の奥沢の地図を作った折に、その頃をご存知の方々が“明電舎グラウンドの桜はみごとだった”と口を揃えておっしゃいました。遊歩道の桜が満開の頃、等々力通りの出発点から西に向う道と自由通りを北に向う道にも想像の中で桜を咲かせて、昔の風景を思い描きました。それはとてもなつかしいゆったりとした風景でした。(Y)

## 土とみどりを守る会 連絡先

世田谷区奥沢 2-19-9 長瀬雅義 5729-0126  
世田谷区奥沢 2-41-2 柳島尚子 3718-8558